

日本協同組合学会 Newsletter

Vol. 31 No. 2 (通巻 83 号)
2019 年 12 月 15 日

～第 20 期ごあいさつ号～

発行 日本協同組合学会 責任編集 会長 増田佳昭
〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町 11 番地 飯田橋レインボービル 5 階
一般社団法人日本協同組合連携機構内 日本協同組合学会事務局
TEL:03-6280-7254 FAX:03-3268-8761
E-mail: kyodo-gakkai@japan.coop
ホームページ: <http://www.coopstudies.com/>

第 20 期会長あいさつ

会長就任にあたって—「協同組合」を社会的に発信する

会長 増田 佳昭

日本協同組合学会の第 20 期（2019 年～2021 年）学会長を拝命しました増田佳昭です。本学会は、研究者と実践家が力を合わせて協同組合に関する研究を深めることを目的に、1981 年に設立されました。本学会は、研究者にとっては協同組合の現場をリアルに捉えることができる、実践家にとっては協同組合をめぐる諸問題を理論的、論理的に考えることができるという点で、他の学会と比べてユニークなだけでなく、優位性を持った存在だと思います。その優位性を活かしながら、学会に結集するさまざまな領域の研究者、実践家のみなさんのご協力を得て、学会運営を行っていきたいと思います。

さて、学会が発足して 40 年近くが経過するのですが、私たちのくらしはけっして良くなっていません。高齢化や人口減少とともに格差や貧困は深刻なものになりました。一言でいえば、社会の「不安」がむしろ増大したと言っていいいでしょう。最近話題となった「老後 2000 万円問題」がその象徴ですが、子育ての不安、教育の不安、健康の不安、経済の不安等々、社会の「不安」が膨らんでいます。その「不安」は「自己責任」で解決すべきだというのが、昨今の社会的な風潮です。それも「激しい競争を生き残って」自らを助けろというわけです。しかし競争から落ちこぼれても、それを受け止めるべき「公助」たるセーフティネットは、この国において、きわめてお寒い状況です。格差拡大と「自助」の押しつけが、社会の「不安」をかき立てているのです。

「不安」の対極にあるのが「安心」です。社会の「安心」をどう創りあげていくのか、「安心」をどう拡大していくのかが、いま、問われているのです。もちろん、その中で協同組合ができることは限られています。しかし、人々が不安の時こそ、協同組合の思想と活動は輝くのではないのでしょうか。「願いをかたちに」してきた協同組合運動の歴史は、いま、その真価が問われていると思います。

残念なことに、協同組合が社会的に大きな地位を占め、重要な役割を果たしているにもかかわらず、この国における協同組合の社会的な認知度はけっして高いものではありません。ともすれば、営利主義の企業と同一視されたり、既得権を守る古くさい存在と見られたりしています。さらには、社会的な運動と経済活動が混在する「不純」な存在と見られることもあります。

協同組合の姿と思想を正しく知ってもらうために、学会として協同組合をおおいに発信していくことが求められていると思います。幸いなことに、2018年4月に、協同組合連携の持続的な組織、協同組合運動のナショナルセンターとして日本協同組合連携機構（JCA）が誕生しました。同機構と連携しながら、学会としても協同組合にかかる研究を深め、その社会的な発信を強めていきたいと思っています。

すでに、「WEB版協同組合辞典」の構想や「協同組合基本法」の研究と発信など、いくつかの積極的なご提案も会員からいただいています。20期の取り組みについては、今後、理事はじめ会員のみなさんのご意見を聞きながら具体化していきたいと思っています。ぜひ、積極的なご提案をいただければと思います。

◇常任理事の役割分担は下記の通りです。

会長	増田 佳昭（立命館大学）
副会長（企画担当）	杉本 貴志（関西大学）
副会長（総務・編集担当）	小山 良太（福島大学）
副会長（国際担当）	中村 久子（ワーカーズ・コレクティブ協会）
企画担当	高橋 巖（日本大学）
企画担当	野口 敬夫（東京農業大学）
企画担当	小関 隆志（明治大学）
企画担当	井上 浩子（神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会）
企画担当	利根川 徳（協同総合研究所）
編集委員長	成田 拓未（弘前大学）
編集委員	伊丹 謙太郎（千葉大学）
編集委員	上田 晶子（JA 共済総研）
編集委員	三浦 一浩（地域生活研究所）
編集委員・企画担当	岡本 一朗（大学生協）
国際担当	伊藤 治郎（日本生活協同組合連合会）
総務担当	河村 浩史（全国漁業協同組合学校）
総務担当	藤井 晶啓（日本協同組合連携機構）
総務担当	濱田 武士（北海学園大学）
総務担当（広報）	松本 典子（駒澤大学）
総務担当（広報）	田中 陽子（コープニュース）
監 事	田中 夏子（長野県高齢者生協）
監 事	勝又 博三（日本協同組合連携機構）

第 39 回 日本協同組合学会大会終了のご報告

第 19 期企画担当常任理事 中村 久子

去る 9 月 6 日(金)～8 日(日)の 3 日間にわたり、関西大学千里山キャンパスにおいて、第 39 回大会が開催されました。まずは、多大なご尽力をいただきました開催校である関西大学の檀原正澄会員、杉本貴志会員をはじめとする大会関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

初日の地域シンポジウムは「地域と協同組合～なにわ大阪の地に根差した協同組合間協同をめざして～」というテーマのもと、杉本会員のコーディネーター解題を受けて、田中会長による基調講演「ローカルなレベルでの協同組合間の連携関係の深化の意義、課題」、団体報告として大阪府生活協同組合連合会（タン ミッシェル氏）、大阪府農業協同組合中央会（吉田恭子氏）、大阪府鱈巾着網漁業協同組合、大阪・泉州広域水産業委員会（森 政次氏）、大阪府森林組合（山田重雄氏）。4 報告に続き、八尾高伸氏(近畿労金)、馬場利彦会員（日本協同組合連携機構）からコメントを頂きました。

2 日目午前は 4 会場で 15 の個別論題報告及びテーマセッション「協同組合間協同の現状と歴史から見た展望」（4 報告）、計 19 の報告と活発な議論が行われました。

2 日目午後の大会シンポジウムでは、「地域の協同を育む協同組合」というテーマのもと、走井洋一会員による座長解題を受けて、「地域コミュニティ形成と協同組合運動—その経験と展望—」（田中秀樹会員）、「地域に根差した協同組合の実践とそれを捉える理論的枠組み」（北川太一会員）、「地域住民と共に仕事おこし・地域づくりに取り組むワーカーズコープの挑戦」（田中羊子氏）の 3 報告に続き、野口敬夫会員、青木美沙会員によるコメントを頂きました。第 19 期の総括的な大会として位置づけられたシンポジウムはフロアを含め活発な議論で締めくくることができました。

続いて、19 期第 5 回理事会、そして臨時総会では、学会賞「実践賞」4 団体（大阪いずみ市民生協グループ、福井市農業協同組合、座間市就労準備支援事業「はたらっく・ごま」共同企業体、大阪府鱈巾着網漁業協同組合）の表彰式が行われました。

交流会では、なにわの食文化を楽しみながらの歓談、実践賞受賞 3 団体の方々からは受賞への想いが語られました。また、韓国協同組合学会ク一会長のご挨拶では、韓国の協同組合基本法制定後、四度にわたる改定や現在審議中の改正案についてのコメントを頂きました。11 月 15 日の韓国協同組合学会学術大会への招待を受けて、増田佳昭会長の連帯の挨拶を中村久子副会長が代読し、短時間ながら交流できましたことも申し添えます。最後に、杉本会員の発声で大阪締め、なにわの空気が会場を包み閉会しました。

最終日のエクスカージョンは、JA いずみの協力で岸和田にある農産物直売所「愛菜ランド」を視察、現場に学ぶ貴重な機会となりました。台風の影響で新幹線の運休が予想されたため予定を一部変更した早めの切り上げなど関係の皆様への臨機応変なご対応に感謝でした。大会シンポジウム等の詳細は、学会誌「協同組合研究」に掲載予定です。

2019年度学会賞「実践賞」の決定について

2019年度は、以下の4団体が学会賞（実践賞）に決定いたしました。9月7日の臨時総会で表彰式が執り行われました。

- 大阪いずみ市民生協グループ
- 福井市農業協同組合
- 座間市就労準備支援事業「はたらつく・ざま」共同企業体
- 大阪府鰯巾着網漁業協同組合

第19期第5回理事会報告

第19期第5回理事会（2019年9月6日）議事概要は以下の通りです。

1. 協議・報告事項

- (1) 第20期理事・監事候補者について、「日本協同組合学会第20期理事・監事候補者名簿」を2019年9月7日開催の臨時総会に提案することが確認された。
- (2) 学会賞「実践賞」の決定を行った。

臨時総会報告

臨時総会（2019年9月7日）議事概要は以下の通りです。

1. 協議・報告事項

- (1) 第20期理事・監事について、「日本協同組合学会題20期理事・監事名簿」の通り選出された。
- (2) その他
学会賞「実践賞」の表彰式が行われた。

日本協同組合学会第20期理事・監事名簿

地区	氏名・所属
北海道	多木 誠一郎(小樽商科大学)
	糸山 健介(酪農学園大学)
	小林 国之(北海道大学)
東北	小山 良太(福島大学)
	冬木 勝仁(東北大学)
	成田 拓未(弘前大学)
関東甲信越	伊藤 亮司(新潟大学)
	高橋 巖(日本大学)

地 区	氏 名・所 属
	片上 敏喜(日本大学)
	伊丹 謙太郎(千葉大学)
	井上 浩子(神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会)
東京	上田 晶子(JA共済総合研究所)
	三浦 一浩(地域生活研究所)
	野口 敬夫(東京農業大学)
	小関 隆志(明治大学)
	松本 典子(駒澤大学)
	田中 陽子(コープニュース)
	河村 浩史(全国漁業協同組合学校)
	利根川 徳(協同総合研究所)
	藤井 晶啓(日本協同組合連携機構)
	岡本 一郎(大学生協)
	伊藤 治郎(日本生活協同組合連合会)
東海北陸	安藤 信雄(中部学院大学)
	青木 雅生(三重大学)
	堀井 真理生(福井県中小企業団体中央会)
近畿	増田 佳昭(立命館大学)
	杉本 貴志(関西大学)
	仙田 徹志(京都大学)
中国四国	加賀美 太記(就実大学)
	副島 久実(水産大学校)
	橋本 直史(徳島大学)
九州沖縄	木村 務(長崎県立大学)
	渡辺 克司(鹿児島国際大学)
	高畑 明尚(琉球大学)
会長推薦	濱田 武士(北海学園大学)
	中村 久子(ワーカーズ・コレクティブ協会)
監事	田中 夏子(長野県高齢者生協)
	勝又 博三(日本協同組合連携機構)

2019 年度春季研究大会および秋季大会の開催予定

※ 大会プログラム等の詳細は、次回以降のニュースレターでお知らせするとともに、適宜HPにアップします。

●第 39 回春季研究大会

2020 年 6 月 6 日（土）大学生協連杉並会館

※ 総会を開催します。

※ 6 月 5 日（金）午後 6 時～8 時 第 20 期第 2 回理事会（場所未定）

●第 40 回大会

2020 年 8 月 28 日（金）～30 日（日）福島大学

8/28（金）エクスカーション

8/29（土）地域シンポジウム、交流会

9/30（日）午前：個別論題報告・テーマセッション

午後：大会シンポジウム

2020 年度学会賞（「学術賞**」「**奨励賞**」「**実践賞**」）の推薦について**

●推薦締め切り期日：「学術賞」、「奨励賞」は 2020 年 2 月末、「実践賞」は 2020 年 6 月末。

●推薦対象（詳細は、「学会賞表彰規程」「同細則」をご覧ください）

学術賞：本学会に 5 年以上継続して所属している会員。同じ条件を満たす共同研究グループが受賞者となる場合は、賞の名称を「共同研究学術賞」とする。

奨励賞：本学会に 3 年以上継続して所属する 40 歳未満の会員。

※学術賞、奨励賞は、2019 年 12 月末日に至る 3 年間（2017 年～2019 年）に刊行された 著書、論文、またはそれに準ずるもので、共同研究（共著論文）、シリーズ論文、翻訳書及び研究資料（いずれも優れた解題論文を含むもの）も選考の対象となる。

実践賞：協同組合の発展に貢献し得る優れた実践及びその記録。

●推薦方法：2 名以上の本会普通会員の連名による推薦を得る。選考対象の研究業績の現物、著者または代表者の業績一覧及び履歴書各 1 部を添えて推薦状を提出する。推薦する場合には、学会事務局に連絡のうえ、所定の推薦書様式を入手して下さい。

部会研究会開催のお知らせ

＜日本協同組合学会福島部会＞

「原発事故後の食と農と地域の再生と協同組合間協同」（12月24日開催）のご案内

このたび、日本協同組合学会福島部会「東京電力福島第一原子力発電所事故後の食と農と地域の再生と協同組合間協同」を、下記の通り実施いたします。プログラム概要は以下の通りです。震災から8年経過した福島県農業・農村、漁業・漁村、林業・山村の現状をあらためて確認し、新たな産地形成の可能性と市場構造の変化への対応について、協同組合の現段階的役割を念頭に議論していきたいと考えています。

◆主催 日本協同組合学会・東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター

◆名称 原発事故後の食と農と地域の再生と協同組合間協同

◆テーマ

- ・震災8年間の総括
- ・持続可能な地域社会の形成と協同組合研究
- ・原子力政策に関する政府への提言

◆対象 日本協同組合学会、災害情報学会

◆日時 2019年12月24日（月）13:30-17:00（13:00-開場・受付開始）

◆会場 東京大学工学部2号館1階213号大講義室
（〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1）

◆参加費 無料

◆プログラム

司会：阿高あや（JCA研究員）

挨拶：増田佳昭（日本協同組合学会会長）

座長解題『原子力災害から8年、新たな産地形成に果たす協同組合の役割』

小山 良太（福島大学食農学類）

第一報告『東日本大震災・原発事故から8年間の総括、避難・帰還の現場から』

丹波 史紀（立命館大学）

第二報告『福島県漁業の再生に果たす協同組合間協同の現状と課題』

林 薫平（福島大学食農学類）

第三報告『風評問題、トリチウム処理問題からみる産地・消費地の連帯』

関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）

協同組合学会のメーリングリストへ登録している皆様へ

2019年12月2日をもってGMOのfreemlが終了したことに伴い、協同組合学会のメーリングリストをGoogleグループに移行いたしましたのでご案内申し上げます。今後、メーリングリストへご投稿していただく際は、coopstudies@googlegroups.com宛にメールをお送りください。

また、freeml登録数は324件でしたが、配信停止70件、重複登録1件、登録不可1件につき、有効登録数は252件となりました。ご自身のアドレスが新メーリスに登録されているか確認されたい方は、事務局までお問い合わせ願います。

限定会員情報の提供

2019年5月24日の理事会で制定された「日本協同組合学会会員情報ならびに会員名簿の取扱い等に関する内規」にもとづき、このたび「日本協同組合学会 限定会員情報」をお送りいたします。

会費納入のお願い

学会の研究活動促進のためにも、会費未納の方は速やかに納入していただくことをお願い致します。会費は年6,000円、学生会員は3,000円です。ご不明な点がございましたら、事務局へお問い合わせください。

郵便振替	加入者名：日本協同組合学会	口座番号：00140-5-557520
農林中央金庫	本店（958）日本協同組合学会	普通預金 / 口座番号：NO. 5026910
三井住友銀行	飯田橋支店 日本協同組合学会	普通預金 / 口座番号：NO. 7033961

★ 会則第6条により、会費を3年以上滞納すると会員の資格を失うことになりますので、ご留意ください。